

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	山本 良一	電 話	483-1151 内線3561
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3265		事務事業名称	畜産振興事業					短縮コード	経常	3265	臨時	3616
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	05	畜産業費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		家畜伝染病予防法、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律、八千代市家畜防疫事業補助金交付要綱、八千代市畜産環境保全事業補助金交付要綱、八千代市畜産振興活性化推進事業補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
本市農業の基幹である畜産業の振興を図るため、家畜の伝染性疾病の発生の予防及びまん延の防止のための家畜の予防検査及び予防接種の実施，また，都市化・混住化の進む本市において必要不可欠である家畜排せつ物の適正処理による畜産環境の保全を行う。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
畜産農家は、年々減少の傾向にあるが、伝染病の予防・農村環境の保全・食の安全に対して市民の関心が高まっているため事業は継続すべき。					大項目（節）	01	農業						
					中 項 目	01	農業						
					小項目（施策）	02	農業経営体の育成						
					細 項 目	01	営農・経営支援体制の強化						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内畜産農家 家畜防疫事業(八千代市家畜防疫協会)，畜産環境保全事業(八千代市畜産環境保全組合)，畜産振興活性化推進事業(八千代市畜産協会)									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 家畜防疫事業により、市内畜産農家（酪農・養豚）の飼養する家畜に対し、予防接種を実施し、伝染性疾病的発生の予防及びまん延の防止する事業に対して補助を行った。畜産環境保全事業により、家畜より排せつされた糞尿の適正な処理と有効利用を行い、農村環境を保全する事業に対して補助を行った。									
	※平成23年度に計画していること： 家畜防疫事業により、市内畜産農家（酪農・養豚）の飼養する家畜に対し、予防接種を実施し、伝染性疾病的発生の予防及びまん延の防止する事業に対して補助を行う。畜産環境保全事業とさわやか畜産総合展開事業により、家畜より排せつされた糞尿の適正な処理を行い、農村環境を保全する事業に対して補助を行う。畜産振興活性化推進事業により、共進会等を行い、畜産農家の技術の向上を図るとともに市民の畜産業に対する理解を深め、市内畜産業の発展を図る事業に対して補助を行う。									
意図 （何を狙っているのか）	・伝染性疾病的発生の予防及びまん延の防止 ・農村環境の保全 ・畜産農家の技術向上及び市民の畜産業に対する理解の向上									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	予防検査及び予防接種対象頭数（のべ頭数）	頭	6, 468	8, 200	4, 618	5, 650			
	指標 2	糞尿処理施設	戸	23	23	21	21			
	指標 3	共進会参加畜産農家	戸	23	23	0	21			
活動指標	指標 1	予防検査及び予防接種対象頭数（のべ頭数）	頭	6, 468	8, 200	4, 618	5, 650			
	指標 2	糞尿処理施設	頭	1, 781	1, 800	1, 762	1, 800			
	指標 3	共進会参加団体	団体	1	1	0	1			
成果指標	指標 1	予防検査及び予防接種実施頭数（のべ頭数）	頭	6, 468	8, 200	4, 618	5, 650			
	指標 2	糞尿処理施設（参加戸数）	戸	12	12	11	11			
	指標 3	共進会参加畜産農家	戸	23	23	21	21			
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード	3265	事務事業名称	畜産振興事業			所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			近年、畜産物価格の低迷、輸入飼料価格の高騰、あるいは後継者不足や畜産環境問題等により、本市畜産農家数は減少しており、畜産情勢はますます厳しい状況にある。 今後は、飼養管理技術等の高度化及び自給飼料の利用拡大、飼養衛生管理の徹底、家畜排せつ物の管理の適正化と利用の促進、多様な経営の育成確保等を通じて、畜産業の振興を図っていきたい。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			各補助事業の実施等により、現状の経費で成果は出ている。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
家畜防疫事業については、家畜の伝染性疾病の発生の予防及びまん延を防止するために、畜産農家から本事業に対する継続要望が非常に高い。	

所属長コメント	都市化の進展に伴い、畜産環境に対する要望が増加しており、今後も周辺環境に配慮し、基幹産業である畜産業の施策を推進する。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		